

あなたの発明創作作品を待っています

このたび、「夢・未来」こども文化祭－少年少女発明創作作品の部のホームページを開設することになりました。平成 30 年度まで 6 回、審査と講評をさせて頂いたご縁で、光栄にも挨拶を書かせて頂きます。

このページが掲げる目標は、少子化と高齢化が同時に進行する私たちの地域社会が、これからも続いて行くための新たな力として、「発明の考え方と方法」を広げること、深めることです。

「発明」は、すでにあるものの新しい組み合わせと言われていますが、それを説明することは容易ではありません。そこで、写真に示す、平成 30 年度の教育長賞に輝いた猿沢小学校 3 年生の中津山琴さんの作品「ツバ付き歯ブラシ」を例に考えてみます。写真を見ての第一印象は、「なあ～んだ。歯ブラシを円盤状のスポンジに通しただけじゃない！」かも知れませんね。確かに完成した作品はその通りです。しかし、歯磨きをするとグニュグニュした液が流れ出して手に付いて気持ち悪いと感じたことはあっても、それを課題として解決するという考えを持った人は滅多にいないのが実態ではないでしょうか。この作品は課題を発見しようとする態度、考え方、その解決手段をいろいろと具体的に試し効果を確かめている点で、「発明の考え方と方法」を示す好例と言えます。

このページでは、一つの例だけで「発明」について理解して頂くのは難しいので、平成 26 年度からの表彰作品を計 20 ほど載せています。写真とともに、それを解決しようと考えた背景や工夫した内容を簡潔な文によって紹介していますので、ぜひ目を通して下さい。興味が湧いた作品については、その動機から作品を完成するまでの過程をできるだけいねいに想像してみてください。

そして、あなたが考え、作った作品を「発明創作の部」に出品して下さい。このページにあなたの作品が加わるのが刺激になって誰かの新たな作品が生まれること、繰り返し作品を作ろうとする過程で発明の考え方が深まることを期待しています。

この地域の子供たちが、お互いに発表する場・学ぶ場として活用し、「発明のまち 一関」が実現することを願っています。それが、このページの「夢・未来」です。